

令和5年 放課後児童健全育成事業の実施状況（概要）

調査主体：こども家庭庁

調査時点：令和5年5月1日

調査対象：全市区町村1,741自治体（うち、放課後児童クラブを実施している1,631市区町村（93.7%））

○登録児童数（利用している児童数） **145.7万人（前年比 6.5万人増）** 《過去最高値を更新》

※低学年（1～3年生）が全体の約8割。

○待機児童数（利用できなかった児童数） **1.6万人（前年比 1,096人増）**

※都道府県別では、東京都、埼玉県、千葉県で全体の約4割を占めている。

※待機児童数が100名以上の自治体は、42市区町村。

○支援の単位数 **37,034支援の単位（前年比 825支援の単位増）** 《過去最高値を更新》

※「支援の単位」とは、こどもの集団の規模を示す基準として、平成27年度から導入したものであり、放課後児童クラブでの活動は、この支援の単位を基本として行うこととしている。

令和5年10月1日時点の放課後児童クラブの実施状況（速報値） <初調査>

○登録児童数（利用している児童数） **139.9万人（5月1日時点比 5.8万人減）**

○待機児童数（利用できなかった児童数） **0.8万人（5月1日時点比 7,789人減）**

○支援の単位数 **36,705支援の単位（5月1日時点比 329支援の単位減）**